

# 第19回日本在宅ケア学会学術集会

テーマ「発展する在宅ケアの未来に」

申請者名 小野ミツ

助成対象年度 2014年度前期

提出年月日 2015年1月9日

## 第19回日本在宅ケア学会学術集会事業完了報告書

### 1. 開催編月日

平成26年11月29日(土)、30日(日)

### 2. 大会テーマ

『発展する在宅ケアの未来に』

### 3. 会場

九州大学医学部百年講堂(福岡県東区)

### 4. 開催主体

主催 日本在宅ケア学会

共催 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

大会長 小野ミツ(九州大学大学院医学研究院保健学部門教授)

### 5. 参加者数

会員	180
非会員	157
保健医療福祉関連従事者・大学院生	158
福岡県内在住者	81
学生等(ボランティア)	68
その他(賛助会員・招待者他)	21
計	665名

### 6. プログラム

#### 第1日目 11月29日(土)

市民公開プログラム 第1会場 10:30~12:00

学会活動推進委員会第3回公開講座

講演1:『在宅ケアにおける人材養成』

講師 太田貞司 聖隷クリストファー大学・教授

座長 狩谷明美 県立広島大学・准教授

講演2:『現場における看護人材養成』

講師 内田恵美子 (株式会社)日本在宅ケア教育研究所・社長

座長 原礼子 慶応義塾大学・教授

学術集会長講演 第1会場 13:00~13:30

『住み慣れた地域の暮らしを支えるケア』

座長 佐々木 明子 東京医科歯科大学・教授

学術集会長 小野 ミツ 九州大学・教授

**特別講演** 第1会場 13:40～15:00

『ペコロスの母に会いに行く』～認知症の母の介護体験をとおして～

座長 小野 ミツ 九州大学・教授

講師 岡野 雄一 漫画家・Singer song writer

**シンポジウム I** 第1会場 15:10～16:40

『地域包括ケアシステム構築にむけて～在宅医療を推進するための  
これまでの取り組みと展望～』

座長 香月 進 福岡県保健医療介護部・医監

尾形由起子 福岡県立大学・教授

シンポジスト 馬場 順子 福岡県保健医療介護部医療指導課・係長

戸次 鎮史 公益社団法人福岡県医師会・常任理事

川端貴美子 福岡県歯科医師会・地域医療介護保険部員

松本 直人 福岡県介護支援専門員協会

有吉富美子 宗像市健康福祉部高齢者支援課・企画主査

**一般講演** 第2・第3会場・交流ロビー 15:10～16:40

**イブニングセミナー1** 第3会場 16:50～18:00

『地域連携を促進するために多職種で共有する『継続看護マネジメント』  
事例を通して考える生活と医療を統合する継続看護マネジメントセミナー』

企画 長江 弘子 千葉大学・教授

座長 谷垣 静子 岡山大学・教授

講師 長江 弘子 千葉大学・教授

講師 乗越 千枝 日本赤十字九州国際看護大学・教授

**イブニングセミナー2** 第2会場 16:50～18:00

『質的研究の方法：グラウンデッド・セオリー法と事例研究を中心に』

座長 小野 ミツ 九州大学・教授

講師 山本 則子 東京大学・教授

**イブニングセミナー3** 第2会場 16:50～18:00

『福岡県小児在宅医療拠点事業 NICU から在宅医療への取り組み』

企画 落合 正行 九州大学病院・総合周産期母子医療センター/  
福岡県小児在宅医療拠点事業担当

演者 落合 正行 九州大学病院・病棟主任

演者 上野ふじ美 九州大学病院・看護師長

演者 山下 郁美 福岡療育支援センターいちばん星・所長

演者 京極 新治 在宅療養支援診療所 医療法人小さな診療所・所長

## 第2日目 11月30日(日)

日本在宅ケア学会総会 第1会場 9:20～10:10

日本在宅ケア学会理事長挨拶 第1会場 10:20～10:30

理事長 亀井 智子 聖路加国際大学・教授

### 教育講演 I

『高齢社会における地域包括ケアの今、これから』 第1会場 10:30～11:10

座長：亀井 智子 聖路加国際大学・教授

講師：高橋 都子 厚生労働省老健局振興課

### 教育講演 II

『住み慣れた地域で最期まで暮らせる理由～多職種で支えるケアの実際～』

第1会場 11:20～12:00

座長：小玉 孝子 福岡県看護協会訪問看護ステーション「くるめ」・所長

講師：阿部 久美子 宗像医師会訪問看護ステーション・所長

### ブラウンバッグセミナー

第1会場 12:10～12:50

#### ①寸劇を用いた住民による介護予防の取り組み

企画 角森 輝美 久山町 C&C センター副センター長

劇団しきおりおり

#### ②在宅ケアを支援するスマホ・タブレット活用術

企画 近藤 則子 老テク研究会・事務局長

### シンポジウム II

『発展する在宅ケアの未来に』

第1会場 13:00～14:30

座長 満岡 聡 満岡内科消化器科医院・医院長

中谷久恵 広島大学・教授

シンポジスト 梅本 政隆 福岡県社会福祉士会・副会長

西野 憲史 西野病院・院長

片山 泰代 ひと息の村・在宅総括

樋口千恵子 たんがくの家・理事長

### 一般講演

第2・第3会場・交流ロビー・交流ホール 14:40～16:10

### 閉会式

第1会場 16:10～16:20

## 両日の一般講演

### 一般講演（口演）

口演1群	『教育・研修』	4 演題
口演2群	『介護予防・見守り』	4 演題
口演3群	『家族支援』	4 演題
口演4群	『訪問看護・医療ケア』	4 演題
口演5群	『ターミナルケア』	4 演題
口演6群	『リハビリテーション・地域連携』	4 演題
口演7群	『退院調整』	4 演題
口演8群	『地域連携・在宅ケア技術』	4 演題
口演9群	『ケアマネジメント』	4 演題
口演10群	『訪問看護』	4 演題

### 一般講演（示説）

示説A群	『地域医療ケア』	6 演題
示説B群	『教育・研修1』	5 演題
示説C群	『介護予防』	5 演題
示説D群	『教育・研修2』	5 演題
示説E群	『介護・保健サービス』	5 演題
示説F群	『高齢者ケア』	4 演題
示説G群	『ケアマネジメント・災害』	5 演題
示説H群	『訪問看護1』	6 演題
示説I群	『地域連携』	6 演題
示説J群	『退院調整』	5 演題
示説K群	『訪問看護2』	5 演題
示説L群	『訪問看護3』	5 演題
示説M群	『ターミナルケア・家族支援』	6 演題
示説N群	『家族支援』	6 演題

## 学術集会を終えて

本学術集会は「発展する在宅ケアの未来に」というテーマを掲げ、開催した。これからの超高齢社会に向け、医療機関から在宅へとギアチェンジし、地域全体で在宅ケアを支えるシステムの構築が求められており、在宅療養を選択した人々に、ケア提供者が何をしなければならないか、あるいはしてはならないか、ケア提供者自身の哲学や感性、在宅ケアそのもののあり方が問われている。

そこで本学術集会では、在宅ケアを選択した人に対して、その選択が良かったと思えるケアに向けて、在宅ケアに携わる様々な職種や地域が一体となって果たす役割とその方向性を探る機会になることを目標に、特別講演、教育講演、シンポジウム、一般口演・示説、イブニングセミナーなど企画実施した。その結果、在宅ケアに関わる多くの専門家や実務者、市民の方々が集い、日頃の実践や教育、研究について活発な意見交換や情報交換、交流の場となった。

本学術集会は、3月から7月へと開催時期の変更に向けた移行期であったため、年内に3月と11月の2回開催であったこと、開催場所が福岡県と地方であったことから、遠方からの参集が危惧されていた。しかし、600名を越す参加があり、盛会の内に終了することが出来た。この背景には、全国からの参集に加え、福岡県内の医療関係者、保健や福祉の実務者の参加が多数あったことがあり、これは在宅ケアに関する認識や取組みが地方においても高くなっていることの現れであると思われる。

また、教育・研究・実務者と活動領域が異なる参加者が集ったことで、一層活発で意義深い集会になったと考えられる。特筆すべきは、①医療機関内の職員による在宅に向けたケアに関する研究発表が多数あったこと、②医師、社会福祉士等の福祉関係者、県保健所・市町村の保健師、訪問看護ステーションの看護職、一般参加者として認知症を抱える家族の参加があったこと、③参加者同士の意見交換や情報交換が行われていたことなどである。

本学術集会は、全てを1つの会場で開催できたことで運営をはじめ参加者が自由に館内を見ることができ、示説発表では参加者同士の活発な意見交換がなされていた。

参加者アンケートでは、9割以上が参加して良かったと回答しており、このように多くの参加者に満足いただけるプログラムを企画出来たのは、公益法人在宅医療助成勇美記念財団にご理解とご協力をいただいたお陰と、心より陳謝申し上げます。

第19回

# 日本在宅ケア学会 学術集会

メインテーマ「発展する在宅ケアの未来に」

2014 **11/29** [土] ▶ **30** [日]

会場 ▶ **九州大学百年講堂**

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

学術集会長 ▶ **小野 ミツ**

九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野

プログラム ▶ 学術集会プログラムは裏面をご覧ください

参加費用 ▶ 会員:(事前)7,000円  
(当日)8,000円  
非会員:(事前)8,000円  
(当日)9,000円

大学院生・福岡県内の保健医療福祉関連従事者:3,000円(講演集なし)

福岡県内在住者:2,000円(講演集なし)

保健医療福祉関連学生:1,000円(講演集なし)

## 市民公開プログラム (無料)

<1日目>11月29日 (土) 10:30~12:00

学会活動推進委員会 第3回公開講座

講演1:「在宅ケアにおける人材養成」

講師 太田 貞司 聖隷クリストファー大学

講演2:「現場における看護人材養成」

講師 内田 恵美子 株式会社 日本在宅ケア教育研究所

## 学術集会プログラム

< 1日目 > 11月29日 (土)

13:00~13:30 開会式

学術集会長講演

「住み慣れた地域の暮らしを支えるケア」

13:40~15:00 特別講演

「ペコロスの母に会いに行く」

~認知症の母との介護生活をとおして~

講師 岡野 雄一 漫画家・singer song writer

15:10~16:40 シンポジウム I

「地域包括ケアシステム構築にむけて」

~在宅医療を推進するためのこれまでの取り組みと展望~

15:10~16:40 一般講演 (口演・示説)

16:50~18:00 イブニングセミナー

1. 「生活と医療を統合する継続看護マネジメント」

~その人の生活を維持するチームアプローチ~

企画 長江 弘子 千葉大学

2. 「質的研究のすすめ方」\*

企画 山本 則子 東京大学

3. 「NICUから在宅医療への取り組み」

企画 落合 正行 九州大学病院・総合周産期母子医療センター/  
福岡県小児在宅医療拠点事業担当

18:30~ 懇親会 (ホテル・レガロ福岡)

< 2日目 > 11月30日 (日)

10:20~10:30 日本在宅ケア学会理事長挨拶

10:30~11:20 教育講演1: 「高齢社会における地域包括ケアの今、これから」

講師 高橋 郁子 厚生労働省老健局

11:20~12:00 教育講演2: 「住み慣れた地域で最期まで暮らせる理由」

~多職種連携で支えるケアの実際~

講師 阿部 久美子 宗像医師会訪問看護ステーション

12:10~12:50 ブラウンバッグセミナー\*

1. 「寸劇を用いた住民による介護予防の取り組み」

企画 角森 輝美 久山町C&Cセンター長

劇団しきおりおり

2. 「在宅ケアを支援するスマホ・タブレット活用術」

企画 近藤 則子 老テク研究会

※お弁当は持参するか事前申し込みをお願いします。

13:00~14:30 シンポジウム II

「発展する在宅ケアの未来に」

14:40~16:10 一般講演 (口演・示説)

